

(福) 足近保育園会

羽島市・乳幼児保育

平成27年度
認定

基準以上の人員配置で、希望に沿った就業時間の調整や、休みを取得しやすい環境を実現。継続就業支援に注力し、2008年の開園当初から、出産・育児を理由にした離職者ゼロを続けている。
従業員数/男性3名 女性50名 計53名 ※平成31年1月現在

余裕ある人員で保育士確保



2019年1月現在、子ども191人・職員53名。重度障がい児も受け入れているため、看護師2名も採用している。

0～6歳までの乳幼児191人を預かる足近保育園は、2010年から人員配置基準を上回る職員を配置し、複数担任体制をとっている。現在は30人必要なところ、

実人員は46人。そのおかげで、1人が希望のシフトを選択でき、70%以上という高い年休取得率も実現。所定外労働時間も月に4時間未満と低く、仕事と家庭を両立しやすい環境が整った。2人の子を持つ調理員の今西沙代さんも「人数が少なかった時は、子どもが熱を出しても職場を抜けにくかったが、今は倍の人数がいるので安心」と話す。

このため、保育士不足による待機児童が課題となる中であつて、以前はあつた離職も、取組みを始めた11年以降、正職員では介護を理由とした二人のみ。出産・育児を理由とした離職者は08年の開園当初からゼロが続いている。

北川山治園長は、「両立支援をしっかりとすることで、人材の確保ができ、職員が働きやすくなるだけでなく、大勢の目で見てもらえれば、



2歳児を担当する前田栄子さんは、「園行事と子どもの行事が重なっても、優先して休みを取らせてくれる。家庭と仕事を両立できるのがうれしい」と語る。

子どもや親も安心できる。多くの保育士による質の高い保育サービスによって、園児が集まり経営も安定する」と話す。実際、園児の数は08年開園時の79人から、19年1月現在で191名まで倍増している。来年度も多くの職員採用に取組み、増える園児に対応していく構えだ。